

高橋和彦選手が柔道日本一に グランドスラム・リオデジャネイロでも優勝



決勝戦 立山選手と対戦



準決勝戦 穴井選手と対戦



優勝の瞬間、歓喜に沸く観客

4月29日、体重無差別で柔道日本一を競う全日本選手権が日本武道館で行われ、新日鉄柔道部の高橋和彦選手が初優勝を飾った。高橋選手は、準決勝で鈴木桂治選手を、準決勝で穴井隆将選手を、ともに判定で下して勝ち上がった。決勝では立山広喜選手と対戦。途中リードを許したが、後半大外刈りで有効を奪って追いつき、終了間際の相手への注意で優勢勝ちした。同大会での優勝は、新日鉄が発足した1970年に篠巻政利選手が日本一となって以来40年ぶりの快挙。

高橋選手は5月23日にブラジル・リオデジャネイロで行われたグランドスラムでも100kg超級に出場。決勝でドイツの選手を一本勝ちで下し、見事に優勝を飾った。

攻め続け念願の初優勝をつかみ取る 高橋和彦

きれいな勝ち方を狙うのではなく、目の前の相手を倒すことだけを考え、シンブルに駆け引きなしで攻め続けました。

優勝した瞬間はうれしかったです。これから世界選手権、そしてオリンピックへの戦いに向け頑張っていきます。



新日鉄柔道部監督
永井亮平

今回の全日本選手権では、勝負に対する気持ちの強い選手が勝者になったと思います。高橋は4月3日の全日本選抜体重別選手権で悔しい思いをし、「絶対に周囲の人たちを見返してやる」という思いがありました。その強い思いがあったからこそ、苦しい場面も最後まであきらめず、攻め貫くことができたと思います。

高橋の試合を観たほかの部員の気持ちにも火がつかまりました。この勢いで6月の全日本実業団体対抗大会で優勝を勝ち取ります。



写真提供：共同通信社

グランドスラム・リオデジャネイロ大会では100kg 超級に出場。準決勝は鈴木桂治選手に優勢勝ち(技あり)し、決勝はドイツの TOELZER 選手に一本勝ちした。